

## 平成 21 年 9 月定例教育委員会会議録

1. 日 時 平成 21 年 9 月 24 日（木）午後 2 時 40 分～午後 4 時 10 分

2. 場 所 岸和田市立公民館 3 階 講座室 4

3. 出席者

委員長 毛利 高二 委員長職務代理者 坂田 忠義  
委員 宮崎 慶次 委員 川岸 靖代 教育長 永本 定芳

4. 事務局出席者

教育次長兼教育総務部長	西田 寛	生涯学習部長	池阪 雄宏
学校教育部長	樋口 利彦	生涯学習課長	鍋谷 佐和子
総務課長	柿本 邦彦	スポーツ振興課担当長	坂田 典子
学校管理課長	児嶋 英幸	郷土文化室長	近藤 利由
学校教育課長	谷 桂輔	図書館長	松田 周光
人権教育課長	岡本 正之	総務課参事	阪田 京子
産業高等学校事務長	宮崎 信男	総務課参事	赤井 敏明

開会 午後 2 時 40 分

前回会議録について異議なく承認された。本会議録署名者に川岸委員を指名した。

傍聴人 4 名。

報告第 48 号 平成 22 年度市立幼稚園児の募集について

○ 毛利委員長

報告第 48 号 平成 22 年度市立幼稚園児の募集について、事務局から説明をお願いします。

○ 柿本総務課長

（「募集要項」に基づき、応募資格、募集人員、入園の決定、通園区域、募集日程、2 次募集、随時受付、その他事項（園児募集の広報等）について説明）

○ 毛利委員長

説明が終わりました。質疑、意見等がありましたら発言願います。

○ 坂田委員長職務代理者

随時受付のところですが、3月1日をもってクラス数を確定とあるが、転勤の方々などは3月に入らないと分からないため、定員の問題があり難しいと思うが、3月から4月まで可能な範囲でそういう方を受け入れられる体制をとってあげてほしい。

○ 柿本総務課長

出来るだけ、柔軟に希望する方に入園してもらいたいのですが、園の先生の配置等があり、クラス編成が3月1日というこのあたりを基準とし、一応の目安としております。柔軟な対応を原則に考えていきたいと思えます。

○ 坂田委員長職務代理者

定員オーバーの場合とあるが、状況はどうか。

○ 柿本総務課長

昨年度の募集からは、山直北幼稚園と常盤幼稚園は1クラス分、定員を増やしました。それまでは、抽選が1つか2つ程度ありましたが、21年度の募集につきましては、希望者が全員、入園できております。22年度も全員が入園できるものと考えております。

○ 宮崎委員

対象児童のうち、公立幼稚園児数の割合はどの程度ですか。

○ 柿本総務課長

約3割です。あと、私立幼稚園3割、保育所4割程度と理解しています。

○ 宮崎委員

幼保一元化をどう考えているか。

○ 永本教育長

岸和田市には、保育所、公立・私立幼稚園があり、保護者の方に選択できる状況にあると思っています。保育所の待機児童の関係で幼保一元化という話が出てきたが、幼稚園の先生方に頑張ってもらい、公立幼稚園のアフタースクールを全園で行いながら、保護者には喜ばれているものと思っています。

○ 宮崎委員

国は、縦割り行政で進んでいないと思うが、岸和田市では、運用で、かねてよりアフタースクールではなく、幼稚園と保育所の交流を行っていると聞いています。

○ 永本教育長

岸和田市では、幼稚園と保育所が非常に近い園がいくつかあります。そういうところは、出来るだけ共有しながら交流することを行ってきています。

○ 坂田委員長職務代理者

最近の経済状況を考えた場合、保育所のニーズが高いのではないかと。

○ 西田教育次長兼教育総務部長

少子化の問題もあり、それほどの影響はないと思えます。

○ 宮崎委員

どこにも、所属しないで在宅という選択もありますね。

○ 柿本総務課長

ごく少数ですが、そういうご家庭もあります。

報告第 49 号 平成 21 年度岸和田市中学校総合体育大会について、報告第 50 号 平成 21 年度「夏期巡回・特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」の実施について、報告第 51 号 平成 21 年度公民館等まつりについて、報告第 52 号 平成 21 年度市民プールの使用状況等について、報告第 53 号 平成 21 年度初心者水泳教室の実施報告について

○ 毛利委員長

報告第 49 号 平成 21 年度岸和田市中学校総合体育大会について、報告第 50 号 平成 21 年度「夏期巡回・特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」の実施について、報告第 51 号 平成 21 年度公民館等まつりについて、報告第 52 号 平成 21 年度市民プールの使用状況等について及び報告第 53 号 平成 21 年度初心者水泳教室の実施報告については、書面にて報告とします。質疑、意見等がありましたら発言願います。

○ 毛利委員長

報告第 49 号のスポーツで有望な競技はどのようなものがありますか。

○ 谷学校教育課長

岸城中学校の女子ソフトボール部が、今年、全国大会に出場しています。

○ 樋口学校教育部長

他には、以前春木中学校の陸上部も全国大会に出場しています。

○ 坂田委員長職務代理者

部活動を指導する先生方が大変で、部の数が少なくなっているように思うが。

○ 谷学校教育課長

学校の規模により教職員の数が違いますので、特に生徒数の少ない学校などでは、どうしても部の数が少なくなるのが現状です。

○ 樋口学校教育部長

一方、新しい先生が入ってきていることもあり、活気が出てくると期待しています。

○ 坂田委員長職務代理者

指導者というのは、必ずしも自分がその競技が得手であるということには限らないと思いますので、取り組んでいただきたいと思う。

○ 毛利委員長

プールの利用者数は、減少しているのはどういう理由によるものですか。

○ 坂田スポーツ振興課担当長

今夏は、例年に比べまして天気が悪くて気温も低いという日が多く、中止日数が多かったことによるものと思います。

- 川岸委員  
子どもの学校水泳も中止になることがありました。

報告第 54 号 第 22 回濱田青陵賞授賞式及び記念シンポジウムの開催について

- 毛利委員長  
報告第 54 号 第 22 回濱田青陵賞授賞式及び記念シンポジウムの開催について、事務局から説明をお願いします。
- 近藤郷土文化室長  
(開催日時、場所、内容、広報等について説明)  
今回の入場申込者数は、470 名です。
- 毛利委員長  
説明が終わりました。質疑、意見等がありましたら発言願います。
- 毛利委員長  
会場は、500 人程度入ると思うが、例年、ほぼ満席になるのですか。
- 近藤郷土文化室長  
はい、概ね満席になります。
- 毛利委員長  
これまで、多い時でどれくらいだったのか。
- 近藤郷土文化室長  
当初は、700 名程度で後ろの方で立見の方が出ましたが、最近では 500 名程度となっています。

報告第 55 号 岸和田城天守閣次期展示について、報告第 56 号 展示・研究資料の寄付について

- 毛利委員長  
報告第 55 号 岸和田城天守閣次期展示について、報告第 56 号 展示・研究資料の寄付については、書面にて報告とします。  
報告第 55 号、第 56 号についてご意見、ご質問等ありますか。
- 坂田委員長職務代理者  
報告第 56 号の歴史資料の寄付について、どういう経過でいただいたものですか。
- 近藤郷土文化室長  
寄付をいただいた方は市内在住の方で、魚問屋を営んでいた商家だった家で、資料は明治末から昭和前期にかけてのものです。ご先祖が公的な立場におられた方ですので、日々の活動に基づいた資料や、旧岸和田全図等の郷土資料、犬飼 毅の書簡等もあります。
- 坂田委員長職務代理者  
文書中心ですね。
- 近藤郷土文化室長

はい、今回は文書中心です。大きなものは、保管が大変になります。

○ 毛利委員長

次に、案件に入ります。

議案第 38 号 平成 21 年度全国学力・学習状況調査結果について

○ 毛利委員長

議案第 38 号 平成 21 年度全国学力・学習状況調査結果について、事務局から説明をお願いします。

○ 谷学校教育課長

昨年度、学力調査の取り扱いにつきましては、本市教育委員会議の審議の結果、市の平均正答率を含めた結果を市の web ページに掲載いたしました。これは市民に説明責任を果たし、保護者の信頼を得て、子どもが育つ教育環境が整うために行ったものです。また、家庭への啓発のリーフレットを作成しました。

なお、昨年度の報告内容は、市全体の平均正解率、教科・区分別の分析、改善策、学習に関わりのある生活習慣に関する結果を議会で報告し、web ページに掲載しました。一方、学校におきましては、各学校の分析結果、課題、改善策等を学校だより等で保護者にお知らせしています。また、対象の小学 6 年生と中学 3 年生には、個人票により結果を返却しています。

今年度も結果の取り扱いについて、教育委員会議で審議をお願いします。

○ 毛利委員長

説明が終わりました。今年度の結果の取り扱いについてご意見がありますか。

○ 毛利委員長

自主公表ということで、公表したところもあるようだが、他市はどうでしたか。

○ 谷学校教育課長

43 市町村のうち、8 市町が公表せず、中学校のみ公表を控えたところが 11 市町ありました。

○ 永本教育長

昨年は、同じ教育委員のメンバーで協議し、公表すべきという結果になりました。府下でも早い判断であったと記憶しています。市民の皆様に批判されることのないような公表をすることであったと思います。

○ 坂田委員長職務代理者

公開について、市民の皆様にご理解を頂いているのであれば、今年度も公開でよいのではな  
いか。

○ 毛利委員長

昨年度の保護者の反応は、どうでしたか。強い批判のようなものはありましたか。

○ 谷学校教育課長

昨年の公表後の状況ですが、問い合わせや混乱等は特にありませんでした。参加した児童、生徒には、個人の結果の分かる個人票を返却していることも影響していると思います。

○ 川岸委員

子どもが対象の学年ではないのですが、公表してもらって自分の弱いところが分かり、休みなどに、その弱いところの学習に力を入れることができるかなと思います。

○ 毛利委員長

学校の先生方にも意識をもって、やってもらえるものと思います。

○ 永本教育長

この学力調査は、一部のもので全てではないと思います。ただ、読み、書き、表現、計算等の基礎について弱いところには力を入れないといけないと考えます。また、様々な生活習慣や家庭の背景もこのアンケートで出てきています。

○ 坂田委員長職務代理者

個々の学校でしっかりと、家庭の協力を得てやっていくためにも、公開は必要ではないか。

○ 永本教育長

先程もありましたが、1学年のみということもあると思いますが、保護者の反応が少ない。

○ 樋口学校教育部長

結果を返却している個人票ですが、見方も添付して保護者宛に返却しています。全国との比較も出来てわかりやすいこともあると思います。

○ 毛利委員長

今年度の国や大阪府の考え方はどうですか。

○ 谷学校教育課長

国は、実施要項では結果の取り扱いが基本的に昨年度と同じですが、改良事項として加えられたものとして、「自らの教育施策の改善、児童・生徒の学習状況の改善等に重要な資料として配慮し、調査結果を役立てるもの」と明記されています。

次に大阪府ですが、8月28日に会議がありまして、昨年どおり説明責任を果たすよう依頼がありました。また、大阪府教育委員会の情報公開の基本的な考え方は、市町村の結果を公開するというものです。

○ 毛利委員長

公立と私立の差はどうですか。

○ 谷学校教育課長

この公表されている集計は公立のみで、私立とは分けています。

○ 毛利委員長

よく言われる経済格差は、結果に出ていますか。

○ 谷学校教育課長

必ずしも、はっきりとこれが学力を左右する要因であるというところまでは、結果は出てい

ないようです。

- 永本教育長  
委員の皆さんは、この点、経済格差はあると思われませんか。
- 坂田委員長職務代理者  
たとえば、上位の県に比べて、それほど大きな経済格差があるとは思えない。
- 川岸委員  
小学6年生であれば、塾に行っている子と行っていない子では差はあるかもしれないと思う。
- 永本教育長  
ただ、逆に都市部の方が、塾へ行っている子が多いのではないか。
- 坂田委員長職務代理者  
上位の県では、家庭での協力とか地域的な支え等がみられるのではないか。
- 毛利委員長  
今年度の市民の要望というのは、出ていますか。
- 谷学校教育課長  
今年度は、複数の団体からは、学力調査の結果の公表について反対の要望が出ています。加えて、市議会では、公表すべきという意見、公表すべきでないという両方の意見をいただいております。また、国、大阪府よりも平均正答率が低かったことから、早急に改善策をとるようにとの意見も市議会からいただいております。
- 宮崎委員  
昨年度も議論している。公表を続けるのがよいのではないか。逆にここで公表を止めてしまうと先生方自身もやりにくいのではないか。やっぱり、目標があって、どういうレベルかということ意識していると思う。適度の競争は必要。今の日本は、アジアの他国に比べて学力が落ちている。バランスとしても、今程度の公表なら問題ないと思う。この公表結果を積極的に改善に生かしてもらいたい。
- 毛利委員長  
結果を公表して、保護者の協力をお願いするということもあります。今年度も結果公表という方向でよろしいですか。
- 永本教育長  
昨年、十分に議論しています。大きな変化が無い限り、変更する必要は無いのではないかと思います。我々がしなくても、またいずれ大阪府は、情報公開から出てきます、
- 毛利委員長  
では、平成 21 年度全国学力・学習状況調査結果の取り扱いは、昨年同様、本市の平均正答率（数値）を含めた結果公表を行うものとし、また、対応策を含めた内容や公表の時期については、教育長に一任したいと思いますが、いかがでしょうか。
- 委員

異議なし。

○ 毛利委員長

それでは、実施要領の配慮事項に沿って、公表の時期及び対応策を含めた内容は教育長において検討いただきたいと思います。

○ 毛利委員長

次に、結果の概要について説明願います。

○ 谷学校教育課長

(別紙公表資料(案)に基づき説明)

今年度の結果としては、全体的に国とのポイント差が、若干縮まっています。ただ、国全体もそうですが、基礎、基本に比べて、活用の力を問われるB調査の方が、得点が低かった。一方、よくなっている改善点としては、記述式の無回答率が小、中学校ともに減少している点が見られました。しかし、生活習慣や学習環境における調査では、朝ごはんを食べる、家での学習、読書週間などの項目では、全国の集計値と少し差があるという結果でした。また、昨年もですが、地域への行事の参加については、国平均を上回っている結果が出ています。

○ 毛利委員長

説明が終わりました。意見がありましたら発言願います。

○ 永本教育長

無回答が今年は、減少したということですが、他に目立った点はありますか。

○ 谷学校教育課長

昨年との比較で言いますと、小学校の国語Bという区分のテストがありますが、昨年の対国との比較で10ポイントの差があったものが4ポイントの差に減少している。

○ 毛利委員長

生活習慣で、大阪府と岸和田市で違いはありますか。

○ 永本教育長

大阪府の傾向と岸和田市の傾向は大体、一緒と思われます。大阪府が弱い点は、岸和田市も弱い。ただ、地域行事では岸和田市は強い。大阪府は、全国と比べて、たとえば朝起きるということでは弱い。朝7時より前に起きるのは、小学校において国平均は7割5分だが、大阪府は5割強程度となっている。中学校でも同様に差がある。こういうところが、目立った点だと思います。

○ 坂田委員長職務代理者

今年は、少しだが昨年に比べて、家庭の協力により、生活習慣の改善がみられてきていると思います。

○ 永本教育長

学力調査のグラフで思うのは、国語Aでいうと全体に少し上がれば、国並みになると思われるが。

- 谷学校教育課長  
 昨年は、岸和田市は下位層が多かったのですが、今年は指摘のとおり得点分布が国に近づきつつあります。
- 毛利委員長  
 次に、改善策について説明願います。
- 谷学校教育課長  
 (別紙公表資料(案)に基づき説明)  
 市教育委員会の取り組みとして主なものは、電子黒板などのICTの有効活用により、わかりやすい授業をはかる。また、大阪府の事業を活用し、「学力向上支援事業」などを実施していきます。
- 永本教育長  
 事務局として改善策は、以上のことを考えておりますが、その他何かございましたらご意見をお願いします。
- 毛利委員長  
 土曜日の活用ということも考えられることかと思う。児童、生徒は土、日曜日の2日間休みと間延びして、月曜日に力が入らない。保健室にいる生徒が多いなどの事象が出てきているのではないか。
- 永本教育長  
 当時、様々な議論がなされており、今からひっくり返すことは出来ないものだと思います。
- 樋口学校教育部長  
 その点、学習面で補完しているのは、放課後学習支援事業で去年から実施しています。
- 宮崎委員  
 この改善策は単に学力調査の結果によるものではなく、ここに書かれていることは、先生にとっては、教える事案は増える中、効率的な時間の使い方という点では、良いと思います。  
 また、小学校から中学校へ上がる時に段差があることがある。出来るだけ、効率的な学習を考えていかなければならない。私立校は、まさにそこをなくしているということで、効率的な授業が出来るということだと思います。岸和田市も学校間の連携をお願いしたい。
- 樋口学校教育部長  
 単に、生徒指導だけの連携ではなくて、カリキュラムの連携という点で、幼稚園と小学校、小学校と中学校の連携を図ってほしいと各学校園へは伝えています。
- 坂田委員長職務代理者  
 学校での指導形態としての少人数学級のT、T(チーム・ティーチング)等は効果が大きいと思われるが、市独自の問題ではなくて人事のことになるのですが、少人数化を求めているのかと思います。
- 永本教育長

少人数学級のT. Tの現状は、どうなっているか。

○ 谷学校教育課長

T. Tについては、2人で1クラスを指導する場合、2つのクラスに割ってしまう場合、習熟度にあわせて行う場合がありますが、大体、岸和田市内の計画をみると、2人の教師が1クラスを指導するのが指導時間の半分位ととらえております。残りの半分を2クラスに分けたり、習熟度にあわせた指導の時間となっております。

○ 川岸委員

子どもを放課後学習支援事業に参加させているが、先生がみて下さって、学校で宿題を済ませてくる。家に帰って来るのは5時過ぎとなり、家庭では習い事で時間を使い、家庭での学習はあまりしなくていい状況になっています。復習に力を入れてくれており、算数も力をつけてきたように思います。

○ 永本教育長

家庭への呼びかけの工夫を学校で指導できる範囲で行い、家庭学習のポイントを上げる必要があると思います。

○ 川岸委員

夏休みの宿題は、少ないので初めの1週間で済ませてしまい、夏休みの後半全部遊んでしまうことになる。もう少し、多い方が家庭学習の面からもよいのではと思います。

○ 永本教育長

確かに、宿題は少なくなる傾向になっていると思います。

○ 樋口学校教育部長

自由課題の宿題は、増加しています。

○ 宮崎委員

自由課題というと、創造性を養うとか聞こえはいいが、強制的にある程度教えないと身につかないと思います。

○ 川岸委員

中学校になると、宿題が多いと聞きますが。

○ 毛利委員長

小学校で少なく、中学校で多いとギャップにストレスを感じるのではないかと。

○ 永本教育長

宿題という一言で片付けるのではなく、家での勉強の習慣が、有るのと無いのでは全然違うと思います。

○ 毛利委員長

最後に、この議案第38号については、詳細は、教育長一任で公表していくことを確認させていただきます。

○ 永本教育長

それでは、報告書が出来次第、昨年と同様の形で公表したいと思います。

- 毛利委員長  
その他、何かありませんか。
- 樋口学校教育部長  
昨年同様、家庭用リーフレットを今年度も作成、配布する予定をいたしております。

#### 議案第 39 号 委員長の選任について

- 毛利委員長  
議案第 39 号 **委員長の選任**について、事務局から説明をお願いします。
- 柿本総務課長  
委員長の選任について、説明いたします。  
毛利高二委員長が、9月30日を以って委員長の1年の任期が満了となりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第12条第1項の規定により、委員長の選任について協議をお願いします。  
委員長の選任については、同法第12条第1項及び岸和田市教育委員会規則第3条第1項によれば、教育長を除いた委員のうちから、選挙により選出となっておりますので、よろしくお願いたします。なお、同委員会規則第3条第3項には、「全員異議がないときは、指名推薦によることができる」となっています。
- 毛利委員長  
説明が終わりました。それでは、委員長の選出についてどのようにさせていただきますでしょうか。
- 委員  
指名推薦としたらどうか。
- 毛利委員長  
指名推薦にしたらどうかとの、ご発言がありましたが、そのようにさせていただいてよろしいでしょうか。
- 委員  
異議なし。
- 毛利委員長  
どなたか、ご推薦をお願いします。
- 委員  
毛利委員長に引き続き、お願いしたいと思います。
- 毛利委員長  
私を委員長に推薦するということですが、いかがでしょうか。
- 委員

異議なし。

- 毛利委員長

ご賛同いただきましたので、委員長は私とさせていただきます。

#### 議案第 40 号 委員長職務代理者の指定について

- 毛利委員長

議案第 40 号 委員長職務代理者の指定について、事務局から説明をお願いします。

- 柿本総務課長

委員長職務代理者の指定について、説明いたします。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 12 条第 4 項の規定及び岸和田市教育委員会規則第 3 条第 2 項・第 3 項により、委員長の選出に準じ、教育委員会の指定する委員が委員長職務代理者となりますので、その指定についてお願いいたします。

- 毛利委員長

説明が終わりました。委員長の選出に準じ、指名推薦ということでいかがでしょうか。

- 委員

坂田委員に引き続き委員長職務代理者をお願いします。

- 毛利委員長

引き続き、坂田委員長職務代理者に推薦するということですが、いかがでしょうか。

- 委員

異議なし。

- 毛利委員長

ご賛同いただきましたので、坂田氏に委員長職務代理者をお願いすることに決定しました。

- 毛利委員長

委員長及び委員長職務代理者が決定しました。10 月 1 日付けの就任となりますが、よろしくをお願いします。次期の就任に先立ちまして委員長及び委員長職務代理者の順に、ご挨拶を申し上げます。

- 毛利委員長

<挨拶>

- 坂田委員長職務代理者

<挨拶>

- 毛利委員長

ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

本日、予定していた案件は以上ですが、その他でなにかございますか。

( なし )

○ 毛利委員長

それでは、これもちまして本日の定例教育委員会は閉会とさせていただきます。

閉会 午後4時10分

本会議録に相違ないことを認め署名する。

委員長

署名委員